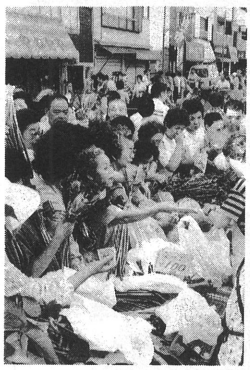
まちかどウオッチング
皆さんのまちの、身近な話題を紹介します。

ウオッチング　まちかど

親しまれてもうすぐ100回
四つ木の朝市



「おはようございます」「また来てください」あちこちから、すがすがしい声が聞こえてきます。

ここは四つ木1丁目のまいろーど四つ木商店街。6月17日、約30店が参加した朝市はたいへんなにぎわいを見せていました。

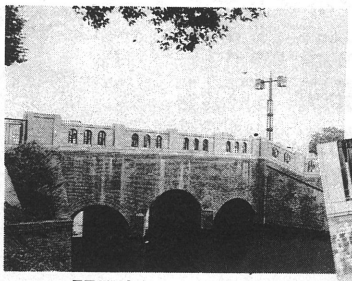
朝市の名物となっているのが、野菜のコーナーです。今朝、区内で穫れたばかりの新鮮な野菜、しかも安いとあって、毎回売り出しの1時間も前から行列…。先ほど店頭に山積みにされたばかりの葛飾特産のワケギ、小松菜などが飛ぶよう売れていきますが、一番人気は、やはり今が旬の枝豆。15分ほどで、あっという間に売り切れてしまいました。

この朝市のもうひとつの特徴は、商店街がその日の売り上げの一部を、区内の民間福祉施設「しょうぶ福祉作業所」に寄付し、これに対し作業所の父母や職員も、朝市のお手伝いをしたり、焼きイカ、赤飯などの模擬店を出すなどの交流が続いていることです。

昭和57年に始まったこの朝市は、毎月第3日曜日の午前7～9時に開かれ、今年の8月には、100回目を迎えます。

ここでは、たんに商品の売り買いだけでなく、地域のふれあいの場として、人々の暮らしぶりや、ぬくもりが伝わってきます。あなたもちょっと早起きして、出かけてみませんか。今月（7月）は、15日です。

レンガ造りの『閘門橋』



葛飾区と埼玉県三郷市をつなぐ橋「閘門橋」（こうもんばし）（西水元6－23先－三郷市戸ケ崎）が改修され、装い新たにお目見えしました。

明治43年に架けられたこの橋は、現在、東京都が管理する約千200橋の中で唯一の「レンガ造りアーチ橋」で、橋名にもあるように、水位を調整する閘門機能を備えています。

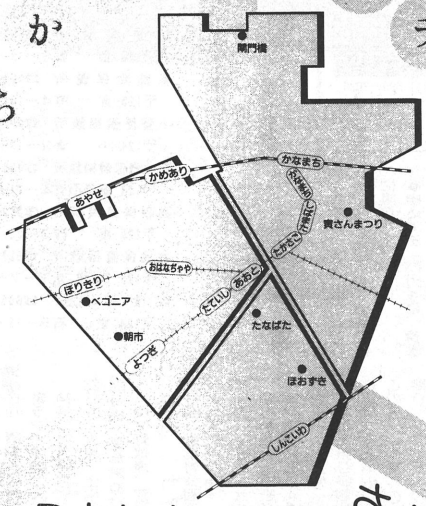
今回の整備は、架橋当時の姿に復元することに重点をおき、橋灯・高欄がきれいになりブロンズ像が設けられるなど、周辺の景観と調和するように配慮しました。

よみがえった「明治の橋」を、訪れてみてはいかがですか。

閘門橋

◆構造　レンガ造りアーチ橋
◆長さ　23.5m　幅4.8m～5.9m　◆橋格　1等橋（現在人道橋）◆架設年月日　明治43年3月（1910年）
◆歴史　宝永年間（1705年）には、現在の地に堰があり、人や荷車は「突っこしの渡し」で往来していたようです。

そして、明治43年に現在の橋が架けられました。当時は「弐郷半領猿又閘門」（にごうはんりょう　さるがまた　こうもん）と呼ばれ、その後「葛三橋」（かつみばし）になり、昭和45年車道橋の完成とともにその名を譲り、新しく「閘門橋」となりました。



寅さんまつり

第7回
わが街 柴又 心のかよう街
とき　7月28日㈯・29日㈰
ところ　柴又帝釈天境内
（雨天翌日順延）

葛飾大盆踊りコンテスト（団体・個人）
団体の部（事前申込）＝葛飾音頭・東京音頭・大東京音頭
個人の部（自由参加）＝寅さん音頭・葛飾音頭・東京音頭

7月28日㈯午後5:00～9:30
- マーチングパレード
- アトラクション
- 子供ジャンケン大会
- 歌謡ショー
- 盆踊り大会
- 福引大会

7月29日㈰午後5:00～9:30
- 朝市　午前9:00～
  産地直送野菜などの即売（売り切れしだい終了）
- 子供ジャンケン大会
- 歌謡ショー
- 福引大会
- 大盆踊りコンテスト

※大盆踊りコンテスト参加団体募集中！
寅さんまつり大会委員会☎(673)0287 (659)5376

心なごむ まちのベゴニア

堀切3丁目の弁天社わきの道路では今、美しいベゴニアの花が、道行く人々の目を楽しませています。

「自分たちのまちは、自分たちの手で快適な住みよいまちにしよう。」と、堀切まちづくり懇談会環境美化部会の皆さんが、昭和59年からおよそ40個のフラワーポットに、四季折々の草花を植え、育てているものです。

今年の暮れには、葉ぼたんに植え替えるとのこと。こんな道は、歩くのが本当に楽しくなります。いつまでも活動を続けてくださいね。

ささの葉 さ～らさら

奥戸2丁目の商栄会では、25軒の商店すべてが1本ずつ七夕飾りをしています。期間は6月28日～7月7日で、今年で10回目。直径約5cm、2階の高さまである立派な青竹には、近くの幼稚園などの園児200人のかわいい夢を託した短冊が下げられています。

商店街の秋山昌三さんは「おりおりの日本の伝統行事を子どもたちの心に残し、伝えていきたいという願いをこめて始めました」と語っています。

ことしも ふっくらと 仕上がりました

「手をかけただけこたえてくれるし、見れば何をほしがっているかわかりますよ」

浅草のほおずき市（7月9・10日）に出荷するほおずきを作って3代目になる、山内清さん（奥戸5丁目）。一鉢一鉢ていねいに、すべてにかけ終るとー時間半かかる、水やりを1日に3回。成育を見て、消毒や肥料やりも。

「緑の実が赤く色づくこの品種は〝ダンバホオズキ〟といいます」「雨が多いと青たけばかり伸びて実のつきが悪いけど、今年は順調だね」

戦後すぐの頃は、区内に30軒はあったのに、今は3軒だけになったそうです。

ほおずきのふっくらとした顔が奥戸の涼やかな夕風に揺れています。

涼をよぶ 夏の風物誌

「かつしか嬉しい祭りと行事」は8面に掲載しました。7月25日号からは毎月25日号に掲載します。